

かけはし2



NO. 10
2022. 1月

■事務所 〒875-0041 臼杵市大字臼杵72番地の47

TEL・FAX 0972-83-5911 E-mail hazime.ast8@gmail.com

新春のお慶びを申し上げます 2022年もよろしくお願いたします

新年のお慶びを申し上げます。昨年1年間も、みなさまには大変お世話になりました。「コロナ、コロナ」の昨年でしたが、1日も早い完全な「終息」を願うとともに、再拡大への備えを怠らないようにしていきます。

本年は「寅」年。私も、前向きなチャレンジ精神を持ち、いろいろなことに強い信念を持って挑んでいきたいと思っております。健康には十分気をつけながら、働く人たちやお年寄りや子どもたちが抱える問題や、地域の課題解決に向け、この1年も精一杯頑張ります。今年も、どうぞよろしくお願いたします。



問及び質疑



知事 廣瀬 勝貞

今定例会から始まった手話通訳

第4回の定例会が、11月24日から12月10日までの17日間の会期で開かれました。新型コロナウイルス感染症対策の検証と対応や経済の活性化、大分県版の地方創生の加速前進とDXや宇宙技術などの先端技術活用などが議論の柱となりました。広瀬知事は提案理由説明で、「コロナ感染は小康状態にあるとし、これまでの対策を検証し、得られた知見や反省点を今後活かしていく」と述べ、①変異株への対応②医療提供体制の確保③保健所の機能強化④ワクチン接種の促進

2021年第4回定例会報告

21年度一般会計補正予算を含む
15議案1報告事項を承認
12月期末一時金は「据え置き」

を挙げ、12月から開始する3回目のワクチン接種に万全を期すると述べました。また、社会経済の再活性化として、生活困窮者や中小企業・小規模事業者の事業継続と雇用維持のための支援に重きを置いた取り組みを進め、大分県版地方創生の加速前進には観光業や農林水産業への支援の取り組みの強化を訴えました。その他、DXの推進や宇宙産業を県の新たな基幹産業とすべく大分空港の「宇宙港」開港を成し遂げるとしました。追加として、国の経済対策に対応して、新型コロナウイルス感染症対策強化と経済再活性化の取り組みの拡充ならびに命と暮らしを守る県土の強靱化のため、455億1139万2千円の21年度追加補正予算が提案されました。なお、公務員の一時金については、国が今回は措置をしないことで大分県も据え置き、来年度に対応することになりました。

調査派遣会

福岡市の自主夜間中学校と公立夜間中学校
(来年度開校)並びに佐賀市の「パートナー
シップ宣誓制度」について、お話を聞いてき
ました

県民クラブのみなさんとともに11月17・18日の2日間、福岡市と佐賀市へ調査活動に行ってきました。コロナウイルスも落ち着いてきたので、これまで自粛してきた「調査活動」を再開。福岡市の自主夜間中学校の様子と、来春開校予定の九州初の公立夜間中学校の準備状況について調査しました。また、臼杵市も導入した「パートナーシップ宣誓制度」を、都道府県単位では4番目に導入した佐賀県におじゃまして、制度の概要等についてお話をうかがいました。

教育の原点がある

夜間中学校とは、さまざまな事情で義務教育を修了できなかったり、不登校などで学校に通えなかったり、通えない人(子ども)たちの受け皿となる「学び直しの場」。

福岡市の千代中学校では、24年前から自主夜間中学校・よみかき教室を開校しています。結婚や就職などで日本にきた外国人や留学生・技能実習生が日本語の読み書きの習得のため、

学齢期にさまざまな事情で義務教育を十分に受けられなかった人や不登校などで「形式卒業生」などの人たちが週2回通ってきています。当日は、中学校のOB先生が算数(分数)の授業の様子を見せてくださいました。一所懸命に授業を聞いている姿に、教育の原点がここにあると感じました。

まずやってみることに

翌日は、福岡市教育委員会におじゃまして、来春開校の公立夜間中学校の準備状況を聞かせてもらいました。2016年の教育機会確保法成立で、全都道府県・政令都市に少なくとも一つの設置が促されましたが、4月現在で12都府県に36校



しかありません。今回は九州では初。ニーズ調査における問題点や配慮事項、予算や設置場所、設置の形態や授業方法など多方面にわたり質問や意見交換を行いました。「やってみないとわからないところが多いが、まずやってみることに。それから改善していく」という担当者言葉が印象的でした。ぜひ、大分県でも設置する方向で取り組んでまいります。

やさしさを大切に

その後、佐賀市に移動。臼杵市で



も導入された「パートナーシップ宣誓制度」について、その過程や状況について意見交換を行いました。佐賀県は「みんなが自然体で心地よく暮らす人にやさしいまちのスタイル」を推進中で、県民一人ひとりがお互いの個性を理解して、気持ちいい形で互いに認め合えるような、佐賀らしい「やさしさ」を大切にしています。さまざまな価値観をもった人たちが、自分らしく生きていけるように現行法制度の中で障壁をできる限り取り除こうと、県レベルで取り組んでいる姿はたいへん勉強になりました。

教職員の仲間と演習場の今と課題について 日出生台小野原地区にて意見交換会

春にはサクラソウの咲く自然豊かな日出生台ですが、そこには西日本最大の陸上自衛隊日出生台演習場があります。1997年に沖縄の米軍基地負担軽減策の一環として、実弾射撃訓練も受け入れることが決まりました。

「これまで日出生台演習場の周辺ではどんなことが起こってきたのか?」「今はどんな様子なのか?」「周辺で暮らす人々の思いや課題は?」などを調査するために、臼杵・津久見の教職員の仲間と昨年11月6日(土)に玖珠の日出生台に向かいました。



車で小野原地区に向かっていくと、道は途中から40cmのコンクリートの下に厚さ10cmの鉄板が敷かれていて防衛道路(「戦車道」とよばれる)に。過去に戦車が川に転落して隊員が亡



くなったり、榴弾砲を牽引していた大型トラックが雑草地に転落したりする事故が起こつています。また、対戦車ミサイルが演習場の外の集落

からわずか1kmの地点に着弾した場所も教えていただきました。通学や通勤に使われている生活道が危険と隣り合わせであり、誤射も起こり得る実態を聞き、危険な日常の中で暮らしている現実を突きつけられました。

小野原地区では、赤いコンクリートの標が畑や民家跡地にあちこち建てられているのが目立ちます。これらは、この土地に住んでいた人たちの家・田畑を国が買い取った後の印とのことで、標の裏側には、「防衛省」の文字が



からわずか1kmの地点に着弾した場所も教えていただきました。通学や通勤に使われている生活道が危険と隣り合わせであり、誤射も起こり得る実態を聞き、危険な日常の中で暮らしている現実を突きつけられました。

第4回定例会の主な議案

◇玉来ダム本体建設工事請負契約の変更

- 高透水性地質に対する止水対策
変更に伴う増額…約20.8億円
止水のため亀裂を防ぐ
「補助止水対策工」を追加するため。

- 減勢工区間の岩盤線変更に伴う置換
コンクリート追加に伴う増額…約8.3億円



◇国東高校双国高の閉校について

- 県立高校募集停止基準の「2年連続して在籍生徒数が総入学定員の3分の2未満」の状態が3年連続で続いていること(2017年~19年)や今後の入学者増加の見通が難しいことなどから22年3月末で閉校となる。

◇県立盲学校の移転について

- 第3次大分県特別支援教育推進計画に基づく大分地区の再編整備として、県立盲学校敷地内へ22年4月1日より移転する。

◇2021年度一般会計12月補正予算(第11号)

- ワクチン接種体制緊急強化事業…10億3500万円
3回目のワクチン接種の回数増など接種体制の強化
- 新型コロナウイルス感染症対策事業…20億円
PCR等検査の対象者を拡大と検査の無償化
- 保育・介護職員等処遇改善事業…30億7700万円
- 国土強靱化5か年加速化対策関連公共事業…267億6735万6千円
- 生活困窮者自立支援事業…1000万円
- 新時代の学びを支えるICT活用推進事業…766万4千円
- 地域公共交通運行継続緊急支援事業…5億1983万6千円 など

記されていきました。多くの人々が、この小野原地区から離れていきました。

南部コミュニティセンターに着くと、地元の衛藤洋次さんから日出生台の変遷と現状、平和運動への思いについて意見交換をしました。詳しくはHPをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、20年度と21年度は実弾射撃訓練が中止となった日出生台演習場。そこには、その土地を愛し住み続けようとする人たちがいることを、私たちは忘れてはいけません。「防衛」とは、国民の生活や財産を守ること、言い換えればその人の「人生」を守ること。そのために、誰かの人生が犠牲になっていいはずはありません。県内の平和を取り巻く状況を日出生台で学ぶことで、私も真実を知るために行動することの大切さや、人とのネットワークを広げながら連帯することの重要性を再確認しました。

はじめの活動日誌

10月

- 1日 決算特別委員会の会派学習会(県民クラブ)
- 4日 県政共闘会議部門別検討委員会(県民クラブ)
決算特別委員会の会派学習会(県民クラブ)
- 5~11日 決算特別委員会(本会議場)
- 12~13日 地域課題研究会in豊後大野市(会派学習会)
- 25日 決算特別委員会報告検討会(第3委員会室)
- 28日 県教組第233回中央委員会出席(県教育会館)

11月

- 2日 県政連議員学習会(県教育会館)
- 4日 決算特別委員会 採決・まとめ(本会議場)
- 6日 臼津平和サークルとともに日出生台演習場の
視察と意見交流会参加(日出生台小野原)
- 9日 大分政経懇話会(臼杵市・喜楽庵)
- 10日 議会対策委員会&自治体議会課題検討会議
合同会議へ参加
- 11~12日 県政共闘会議部局別交渉参加(第3委員会室)
- 17日 議会運営委員会(議会運営委員会室)
議案説明会(県民クラブ)
会派調査活動(自主夜間中学校へ=福岡市立千代中学校)
- 18日 会派調査活動(福岡市教育委員会・佐賀県庁)
- 24日 第4回定例会開会(本会議場)
- 30日 補正予算議案説明(県民クラブ)

12月

- 1~3日 本会議一般質問(本会議場)
- 7日 商工観光労働企業委員会参考人招致(第3委員会室)
土木建築委員会(第1委員会室)
- 8日 予算要求状況会派説明会(県民クラブ)
- 10日 第4回定例会閉会(本会議場)
黒田福知事と学習会(県民クラブ)
飲酒運転根絶フェア
(ギャラリー竹町ドーム広場)→
- 13日 土木建築委員会県内所管事務調査(宇佐~中津)
- 14日 土木建築委員会県内所管事務調査(日田~玖珠)
- 17日 臼杵市人材育成市民連携会議(臼杵市役所)
- 21日 「伊方原発廃炉・上関原発計画を許さない」
大分県共闘会議定期総会(大分県労働福祉会館)



新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期になっていた土木建築委員会の最後の県内所管事務調査に12月13、14日の日程で行ってきました。年末の寒い時期でしたが、それぞれ4つの土木事務所の方々の温かいもてなしと熱心な説明を受けました。道路事情の悪い地区で、4車線化など幅を広

げたり新しくバイパスを通したりトンネルを掘ったりと、時間と、もちろんお金もかけながら、安全で便利な道路の新設に取り組んでいる様子を調査させていただきました。玖珠では、一昨年の7月豪雨で被災された地区を調査しましたが、復旧が進んでいるところと規模が大きく時間がかかるこ

土木建築委員会県内所管事務調査
宇佐・中津・日田・玖珠の道路改良や
災害復旧の様子を視察してきました

ろがあり、困難ではあるけれども一日も早い復興を願いました。



ホームページにご意見、ご要望などお寄せください

最新の議会情報に会報「かけはし2」や様々な調査等々、掲載しています。皆様からのご意見やご要望なども受け付けています。よろしくお願いいたします。

【ホームページアドレス】

<https://hajime-takahashi.jp/>

QRコードはこちら→



【県民クラブHPはこちら】

<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>

たけやま

また新しい年が来ました。昨年・一昨年と苦しめられた「新型コロナウイルス感染症」も今のところ(原稿を書いている2021年12月)は落ち着きを見せ、感染者数は連日「ゼロ」を更新中。世界は新たな「オミクロン株」が流行し始めていますが、油断せず感染予防をしっかりと抑え込みたいものです。2022年は「寅年」。県議も4年目になります。市民・県民のみなさんのお役に立てるよう、いろんなことにトライして本年もがんばります。

